



今から

私の部屋に…
来てくれませんか…？

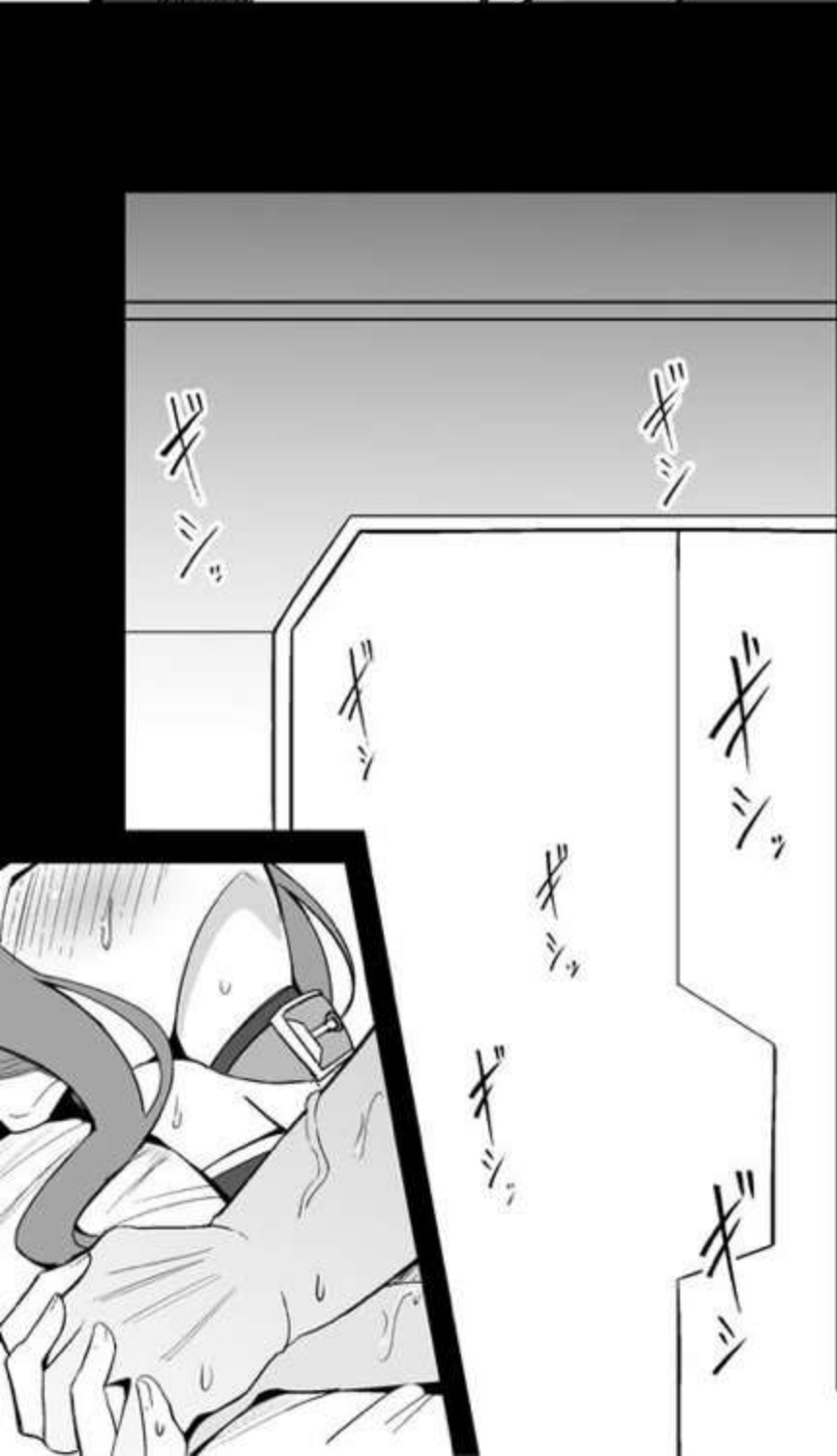
マスター…
ありがとうございます…

それでその…あの…



今日はこのくらいに
しておいてあげるわ

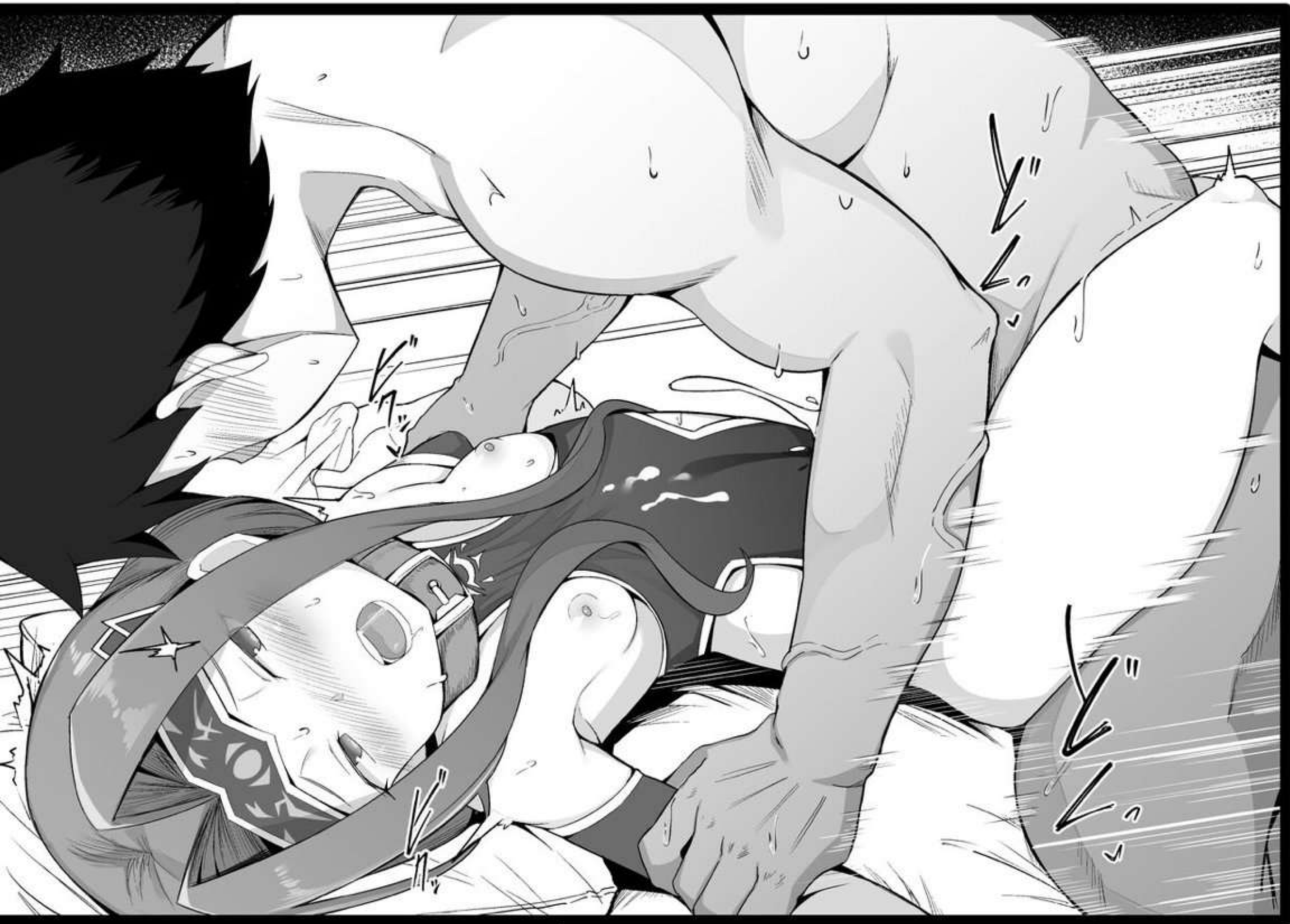
興が冷めました…



何か
お礼をさせてください…



え？
う…うん…







アナちゃん…
こんなにエッチな
子だったなんて…



はあ…はあ…



もう充分楽しんだわよね
メドゥーサ
使い物にならなくなる前に
私たちが貰うわよ



明日も
頼んでみようかな

ハイ…
さて…
そろそろかしら

ちゅぽ

ちゅぽ

ちゅぽ

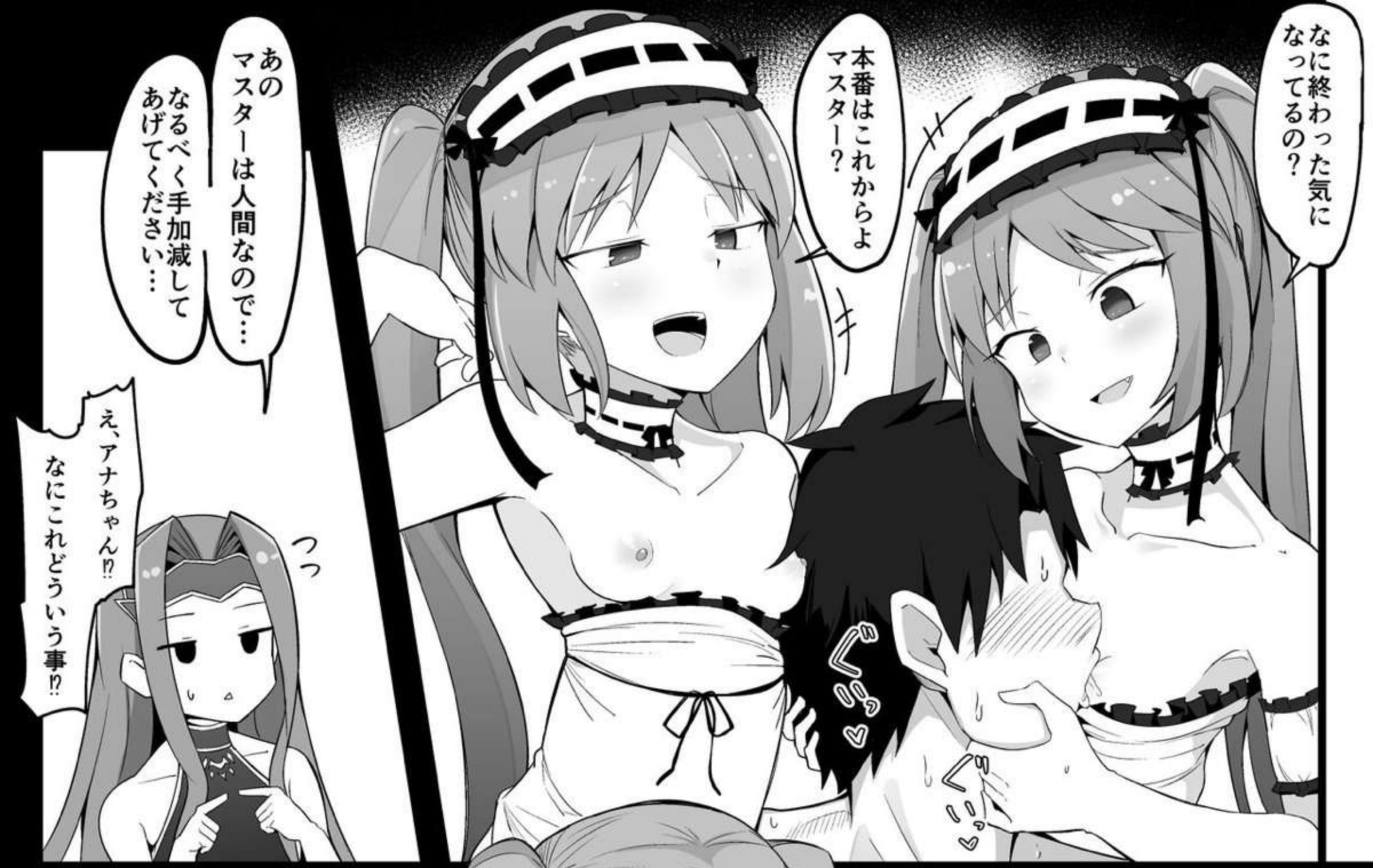
なに終わった気になってるの？

本番はこれからよ
マスター？

あの
マスターは人間なので…

なるべく手加減して
あげてください…

え、アナちゃん？
なにこれどういう事!!



はい、口答えはいいから
さっさと濡らさない

マスターは素直に
私達のいう事に従って
いければ

んぐっ…
ふふあい…





あら...結構早漏なのねマスター

もっと楽しみたいのだけれど

アッ!
ステンノ様...
今敏感なので
グリグリやめてくださっ...



やっと私の番が回ってきたと思ったら

ちよつと勢い落ちてるんじゃない

なに勝手に休んでるのよ!

すみません
エウリニアル様!

...精三杯...
頑張っておりますので...

...何卒ゆるして
いただきます...

ダメやしっかり腰入れて
私を満足させなさいっ!



少し前



あら
メドウーサ
マスターの事が
気になるの？



いいや
そんなことは...

フフフ
あなたホントに
隠し事が下手ね

そんなにマスターと
結ばれたいなら
私たちが
手伝ってあげるわよ

もちろん報酬は
いただくけどね

え、それはどういう...

いいから言う通りに
しなさい

